

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区 新人大会

28年 4月 30日 時刻11:10

男子 【決勝リーグ】

桜丘	81	{ 22-4 22-12 22-6 15-11 }	33	門真三
----	----	------------------------------------	----	-----

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑥⑦⑧⑨

白⑥のジャンプシュートからゲームが動き出す。黒も⑥のジャンプシュートで応戦する。

その後、白は⑦や⑧のシュートで得点を重ねていく。さらに白はオールコートディフェンスで

激しいプレッシャーをかえ速攻で得点を重ねていき、1Qを22-4で白のリード。

第2PD

白④⑤⑧⑫⑰、黒④⑥⑦⑧⑨

白⑫のジャンプシュート、⑧、④のシュートで白は得点を重ねていく。黒も④のランニング

シュート、⑦の1対1で反撃する。その後、お互いファウルが増えるが、白は激しい

ディフェンスで黒からボールを奪い、着実に得点を重ねていく。2Qを44-16で白のリード。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑥⑦⑨⑪

白は⑤、⑦のフリースロー、④の3点シュートでリズム良くオフェンスをする。黒は⑦の

ジャンプシュートで対応するが、白の激しいプレッシャーでリズムよくオフェンスできない

時間が続く。白はメンバーを替えていきながら得点を積み上げ、3Qを66-22で終える。

第4PD

白⑤⑨⑫⑮⑱、黒④⑤⑥⑧⑩

お互いミスが続き、序盤は得点が入らない時間が続く。その後は、白は激しいディフェンスから

リズムをつかみ、⑩⑬のシュートで得点を重ねていく。その後、黒は⑧の1対1、⑩の

3点シュートで得点を返すが、激しいディフェンスで得点を重ねた白が81-33で勝利した。

(戦評/門真五中学校:相見)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区 新人大会

28年 4月 30日 時刻11:10

男子 【決勝リーグ】

樟風	39	{ 4-9 13-8 10-12 12-18 }	47	四條畷西
----	----	-----------------------------------	----	------

第1PD

白④⑥⑦⑧⑨, 青⑤⑥⑦⑧⑪で両チームハーフマンツーディフェンス。

白は速攻で得点をねらう。対して青は1対1ドライブからシュートを狙う。お互い固さからシュートが決まらない。白はオールコートマンツーマンでリズムを変えようとするが青はドライブからの合わせで対応し4-9で青リードで1ピリオド終了。

第2PD

白④⑥⑦⑧⑨, 青⑥⑦⑧⑨⑪

青は⑥のドライブを中心に攻め、つきはなそうとするが白はディフェンスをコンパクトに守りシュートを打たせない。白のディフェンスからの速攻や、リバウンドシュートが決まり17-17で追いついたところで前半終了。

第3PD

白④⑥⑦⑧⑨, 青⑥⑦⑧⑨⑪

お互いディフェンスからの速攻をねらう。青の⑪のブロックからの速攻が決まりリズムをつかむ。白は外からのドライブでシュートをねらうが、決めきれない。青は⑥のドライブやパスで得点を重ねる。一時点差をつけるが白も前からのディフェンスを頑張り27-29で3ピリオド終了。

第4PD

白④⑥⑦⑩⑪, 青⑤⑥⑦⑨⑪

青は⑦⑪がオフェンスリバウンドをがんばり、リードする。白はドライブや3Pシュートを交えながら得点をねらうが決まらない。終盤、白④の3Pが2本決まるが、追いつけず39-47で青のリードで試合終了。

(戦評/門真五中学校:藤林)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区 新人大会

28年 4月 30日 時刻14:30

男子 【決勝リーグ】

門真三	44	{ 3-21 14-6 8-22 19-18 }	67	樟風
-----	----	-----------------------------------	----	----

第1PD

白ハーフマンツ、青オールコートマンツでスタート。

青④のドライブからの1対1で黒が先生。序盤、青④⑥のドライブからの1対1が決まり、

得点を重ねる。一方白は、青のオールコートディフェンスを崩せず得点できない。

青④⑧の連続3Pが決まり点差が広がり3-21で青リードで1PD終了。

第2PD

白オールコートマンツ。

白⑥センタープレイで先制。白はオールコートマンツディフェンスに切り替え、

得点を重ねる。リズムを崩した青チームの得点が中盤以降とまる。白は⑥⑧の

センタープレイ、オールコートディフェンスのカットからの速攻などを中心に得点を

重ねる。青も外からのドライブで得点するが差が縮まり17-27で青リードで終了。

第3PD

青のミドルが決まり、第3PDが始まるが、白は⑥⑧のオフェンスリバウンドからのゴール下が

決まり点差を詰めようとする。しかし、白のミスからの速攻と青④の3Pが決まり流れが青へ。

白は青のオールコートディフェンスのプレッシャーからミスが目立ち、得点が止まる。

白のミスからの速攻・ドライブからのパス・シュートが決まり青が再び点差を広げ25-49で終了。

第4PD

白⑨の1対1で得点が入り、スタートするも青のオールコートディフェンスからのカット、速攻が

決まり、点差が広がる。青はドライブからの1対1、⑦のポストプレーからの得点を重ねる。

終了3分前に白⑨の3P、1対1などで白が得点を入れ最後に点差をつめるが、追いつくことが

できず44-67で樟風が勝利した。

(戦評/四条畷中学校:八重樫)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区 新人大会

28年 4月 30日 時刻14:30

男子 【決勝リーグ】

四條畷西

25

11-17
3-14
5-17
6-21

69

桜丘

第1PD

白⑤⑥⑦⑧⑪、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

黒⑦のジャンプシュートで桜丘が先制。すぐさま白、畷西も⑥の1on1で返す。白は⑥をはじめとした思い切りのいい1on1で得点を重ね、黒は速攻・ポストプレーで得点も重ねる。残分3で8-8となるが、黒④の1on1、⑫のミドルシュートで11-17の黒リードで終える。

第2PD

白⑤⑥⑦⑧⑪、黒④⑤⑦⑧⑫でスタート。

黒の厳しいDefからの速攻が決まり、一気に8点を連取。残分5で白はたまらずタイムアウト。その後、白は果敢に1on1や逆サイドからの飛び込みを仕掛けるも、タフショットが続き点差が縮まらない。黒はその後も得点を重ね、前半14-31で黒リードで終える。

第3PD

白⑤⑥⑦⑧⑪、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

第3PDがはじまり、両チームともほとんど点数が動かない時間帯が続いた。しかし黒のファーストブレイクからの⑥のシュート、⑰の3P、⑧のポストプレーなど得点が続く。黒がリードを広げ3PD終了。

第4PD

白⑥⑦⑧⑩⑪、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

第4PDのはじまりも、黒⑧の先制点からはじまり⑥のブレイク、⑤の1on1、⑦ミドルなど得点が続く。白は⑦のリバウンドシュートなど反撃を見せるも黒はインターセプトからのブレイクでさらに得点を重ね69-25で桜丘が勝利した。